令和３年度　長野県赤穂高等学校入学者前期選抜における評価方法

（はじめに）　前期選抜においては、調査書と面接に加えて、各高等学校が指定した選抜資料を総合的に評価して合否の判定が行われます。ただし、各校が事前に示した「募集の観点」により、特定の資料を重視することがあるため、おおよその比重および評価項目について、各校ごとの一覧表にまとめました。

（表の見方）
１　「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
２　「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。評価点を示したものではなく、合計して合否を判定するわけではありません。
　また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
３　「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
４　「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
５　事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。
６　「調査書」の学習成績における評定値を示す場合は目安として示しています。

１　全日制課程

高校名	学科		観点別	評価方法	調査書	面接	作文(小論文)	実技検査	備考
赤穂	商業	商業		比重	80	20	－	－	優れた活動実績には配慮する。
				項目等	基本的生活・学習成績を重視	志望動機 意欲 態度 自己PR			